

日本の皆様へ

国際ロールシャッハ学会第22回大会会長として、また大会組織委員会と学術委員会を代表しまして今年の7月のパリ大会に日本の皆様においでいただけますようお願いのご挨拶を申し上げます。

ご存じのように、パリは大変美しい街です。大会が開催される会場はそのパリのど真ん中、ノートルダム寺院の近く、有名なソルボンヌ大学の近所にあります。電車に乗れば、大会会場からオルセー美術館やルーブル美術館そしてベルサイユ宮殿に出向くこともできます。

この大会には、是非多くの日本の皆様においでいただきたいと組織委員会一同心を込めて準備しております。ISR会長で、包括システムによる日本ロールシャッハ学会顧問の中村紀子先生には事例検討にご登壇願っております。この事例検討のラウンドテーブルにはアメリカ、イギリスそしてフランスからの仲間が参加いたします。事例のロールシャッハとTATのプロトコルは日本語に訳して皆様に配布する予定です。日本ロールシャッハ学会前会長の小川俊樹先生にはメイン・ホールでの大会企画のセッションの司会をお受けいただきました。メイン・ホールにおける大会企画のセッションやシンポジウムは日本語、英語、スペイン語、フランス語に通訳されます。

それでは、パリでお目にかかりましょう。2017年が皆様にとって良い年となりますように。

敬具

Pr. Benoît Verdon

French Society of Rorschach and Projective Methods

